

印西大師 番外・旧第82番 笠神・原ノ堂（笠神集会所）

1 名称 (No.177/230)〔手引鏡：原ノ堂〕〔資料館：原ノ堂〕〔行程表：原堂〕

2 場所 印西市笠神880 笠神集会所

表前観音堂から道程約220m、

辻堂から道程約370m

GPS座標 35.816819240209206, 140.20387863607291

3 由緒

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。

5 境内 大師堂のほか集会所と墓地がある。

6 写真 (2023.059撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



大師堂(左)、原ノ堂(中)、集会所(右)



原ノ堂の内部



笠神集会所

7 情報

(1) 原ノ堂

手引鏡によると辻堂から原ノ堂まで3丁6間（338m）。Googleマップで距離を測定すると辻堂から笠神集会所まで道程約350m、ほぼ同じなので、ここが原ノ堂と考えられる。

(2) 七次・長楽寺へ遷座

「印西八十八ヶ所手引鏡」に、「(表紙裏書・異筆) 八十二番 七ッ次 笠神 はらのどう」との記載がある。また、印旛歴史民俗資料館の「印西大師順路図」には「82 七次 観性院＝笠神」、「本番札所の協議をされたのは昭和十年代当初と推察されます」との記載がある。ここでいう「七ッ次」及び「観性院」というの長楽寺のことと思われる。遷座の経緯は不明であるが、笠神には第82番原ノ堂のほか、第44番南陽院、第71番辻堂と3か所もあったので、南陽院と同じ天台宗の有力寺院である七次・長楽寺（灌頂院）に譲ったものであろうか。

なお、明治39年の梶原納経帳では、第82番は笠神・原堂（阿弥陀如来）とあるので、明治39年8月時点ではまだ遷座していない。

(3) 慈眼坊（俗に原堂と云ふ）

大字笠神字下池にあり 天台宗にして南陽院持なり 正観世音菩薩を本尊とす 往昔南陽院の所在地なりしか元禄年間本院（南陽院）を船戸に創建せるを以て役僧を置き慈眼坊と称し諸坊の取締をなさしめたりと云ふ 檀徒200人（本埜村誌）

(4) 子安庵

笠神村字下池にあり 天台宗にして南陽院持なり 阿弥陀如来を本尊とす 由緒不詳 檀徒200人（印旛郡誌）

(5) 印西大師 第82番 灌頂院 御詠歌（泉倉寺本による）

宵の間の妙降(たへふ)る霜の消へぬれば あとこそ鐘の勤行の聲(こえ)

四国八十八ヶ所 第82番 天台宗 青峰山(あおみねざん) 千手院 根香寺(ねごろじ)

本尊 千手観音菩薩（香川県高松市） 写し